

医療技術学科新聞

2014年
6月号

エイズキャンペーン

みなさんは「とうかささん」をご存知ですか。胡子大祭・住吉祭と並んで広島島の三大祭りに数えられるひとつです。毎年この時期にあわせ広島県や広島市、広島県臨床検査技師会、特定非営利活動法人などの主催・協力で、「とうかささんdeエイズ検査」という予防キャンペーン活動を行っています。キャンペーンでは無料でHIV検査ができ、結果も当日に知ることが出来ます。今年は6月7日(土)に開催され、本学科の臨床検査学専攻1、2年の学生8名と教員2名がボランティアとして参加しました。活動内容は啓発品(パンフレット、コンドーム、ポケットティッシュ)の配布とHIV検査の案内などです。将来、臨床検査技師を目指す学生にとって臨床検査技師会の活動を知ることが出来るため、HIVに対する正しい知識や予防の重要性をあらためて再認識することが出来たいい機会でした。

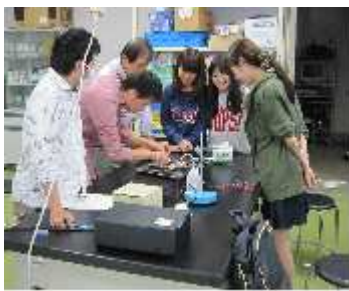
一般の方にもHIV感染の予防とHIVに対する正しい知識を持つていただくいい機会になったのではないかと思います。参加した学生と教員のみなさん、お疲れ様でした。



(写真)活動終了後にみんなで記念写真を撮りました

学内実習紹介

第2回目の実習紹介は、臨床検査学専攻2年生の人体生理機能学実習です。この実習では、生理機能に関わる合計8つのテーマを週替わりで学びます。今回はカエルの解剖実習を紹介いたします。カエルのような生物試



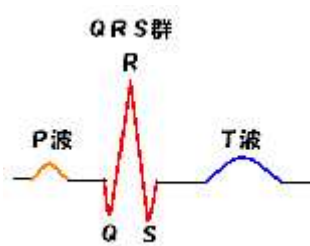
(写真)カエルを解剖する学生たち

料は時間経過に伴い状態が悪くなるため、実習は手早く進める必要があります。このテーマではカエルの心臓を用いて、心臓の収縮力の調節、心電図波形の記録などを学びます。このように生物を使った実習は数少ないため、とても貴重な体験ができるテーマです。そして、命を捧げてくれた生物への感謝も忘れてはいけません。人体生理機能学実習は、3専攻とも2年生での必修科目となっております。今後の学習にも役立つ大切な分野なので、頑張つて理解を深めて下さい。来月号は、救急救命学専攻の実習風景を紹介します。

医療機器特集

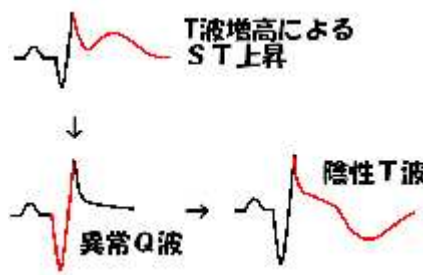
今月紹介する医療機器は心電計です。心電計は心電図を記録する機器です。心房や心室の活動による電位変化を胸や四肢に装着した電極より、記録したものが心電図です。心電図を記録することで、波形の変化から不整脈や心筋梗塞などを見つけることができます。心電計は心臓の活動を記録する重要な機器の1つなので、正確な波形の読み取りが必要です。

心電図ミニ知識



右図は健康な人の心電図波形です。心電図の波形はP波、QRS群(Q波・R波・S波)、T波で構成されています。P波は心房の収縮を表し、QRS群は心室の収縮を、T波は心室の興奮が元に戻る様子を表しています。右下の図は心筋梗塞の波形です。T波の増高から始まり、ST上昇、異常

Q波、陰性T波の順に波形が変化します。このように心電図は、心臓の動きを読み取ったり、心筋梗塞などの心疾患の診断に役立ちます。



今月の国家試験

- 心筋梗塞の心電図所見で正しいのはどれか。3つ選べ。
- 1、ST上昇
- 2、異常Q波
- 3、T波陰転
- 4、PQ短縮
- 5、QRS延長

先月号の国試解説

答え2
超音波は気体には伝わりにくい性質を持つので、プローブにジェルを塗ることによって皮膚とプローブ間の空気を排除します。こうすることで超音波が伝わりやすくなり、綺麗な画像が撮れるようになります。

今後の大学・学科の予定

- 7/13(日)健康フェア(紙屋町シヤレオ)
- 7/20(日)第2回オープンキャンパス(東広島、呉キャンパス)
- 7/21(月・祝)第2回オープンキャンパス(呉キャンパス)

編集者(医療技術学科クラス委員)

- 丹野富士(4年臨工)
- 脇 裕和(4年臨工)
- 村中静夏(4年臨検)
- 田中紀裕(3年臨工)
- 真鍋 葵(3年臨検)
- 比嘉千春(2年臨工)
- 久行菜帆(2年臨工)
- 青木麻友(2年臨検)
- 今朝丸麻希(2年臨検)
- 今朝丸麻希(2年臨検)
- 東原 諒(2年救急)
- 宮地彩花(2年救急)
- 水國あゆみ(1年臨工)
- 百合野真由(1年臨工)
- 森元夏海(1年臨工)
- 三澤英里子(1年臨検)
- 宮内 彩(1年臨検)
- 大畑泰斗(1年救急)

担当教員

- 速水 啓介
 - 藤本 浩章
 - 川中 洋平
 - 徳毛 悠真
- 1年生(救急)でクラス委員に興味のある方は608研究室まで♪